

■スポーツ医学科

1. 2018年度の目標及び方針

1) PA業務の発信

日本に先駆けて行なっているPA業務内容をより高度なものとし、医師の働き方効率化を推進するとともにPAの院内での地位向上を図る。

2) 総合スポーツ外来立ち上げ

2020オリンピックパラリンピックならびに2019ラグビーワールドカップへ向けて、総合スポーツ外来を立ち上げる。竜医師・濱井医師を迎え、運動器に限定されないスポーツ選手の訴えへの対応を可能としていく。

3) 軟骨再生治療の推進

加藤医師を筆頭として日本で有数の症例数を誇る軟骨再生治療をさらに推進しつつ国内外へ発信し、手術件数の増加へつなげる。

4) エコーガイド下治療の推進

関節鏡につぐ次世代の低侵襲治療であるエコーガイド下手術では日本有数の症例数を誇っており、さらに推進しつつ国内外へ発信し、手術件数の増加へつなげる。

5) 最新運動器治療の拡充

手術のみならず保存的加療においても、HydroRelease、多血小板血漿療法（PRP）や高圧酸素療法（HB0）に加えて、体外衝撃波治療（ESWT）を導入し最新の治療体制が整った。これら自費診療での収益増加を目指す。

6) 学術活動

上記した最新の手術や保存的治療を国内外へ発信するために年間の投稿英語論文数増加を目指して積極的に臨床研究を行なう。年間10以上の英語論文を目指す。

7) オルカ鴨川FCサポート

なでしこリーグ2部で活躍する女子サッカーチーム、オルカ鴨川FCのメディカルサポートを森本PAを中心に引き続き行う。さらには下部チームへのサポートも常守PAを中心に拡充させていく。

8) 鍼灸院の立ち上げ

オルカ鴨川FC公式ショップ (Blauer Kresi:ブラウークライス) に鍼灸院を開設し、佐藤PAを中心に針治療やカスタムインソール、運動指導などスポーツ選手にニーズの高いアプローチを展開している。

9) 2020オリンピック・パラリンピックに向けての準備、展開

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、大内、服部、山田につづき、今年、市川、常守がIOC Diploma in Sports Physical Therapies取得した。今後、東京オリンピック・パラリンピックやその他IOC主催の大会へ積極的に関わる予定である。

10) フェロー教育

フィリピンからインターナショナルフェローを受け入れ、外国人に対しても本格的なスポーツ医学・関節鏡手術教育を継続する。また、院内外スポーツ医学科ローテート医師を受け入れ、教育も積極的に行う。スポーツ医学科専属フェローを獲得する。

2. 2017年度の評価

1) 手術件数の増加

膝関節への骨切り術、軟骨培養移植の症例数は増加傾向にある。また総手術件数も増加傾向にある。

2) 女性スポーツ外来の立ち上げ

2017年6月から女性スポーツ外来を立ち上げ、オルカ鴨川FC選手を中心に、スポーツ活動により惹起される婦人科系疾患への診療を行っている。

3) 最新医療技術の推進

昨年度に引き続き引き続き難治性腱障害、靭帯損傷に対してPRPを行っており、経過良好である。膝関節広範囲軟骨欠損患者に対して自家培養軟骨移植手術（13症例）を行った。術後経過は良好である。

また、PRP、自家培養軟骨移植に関して学術発表、講演を行った。（資料参照）

4) 放射線科との連携強化

2～3ヶ月に1回、放射線科と共に情報共有・画像診断力向上のためにカンファレンスを行った。また放射線科足立医師との共同研究も進行している。

5) 安房地域医療センター、亀田京橋クリニックの外来充実

安房地域医療センター、京橋クリニック外来の継続により、手術適応患者は増加傾向である。

6) 国際武道大学医事相談嘱託医

大内、山田、服部が嘱託医を行った。今後も継続する予定である。

7) フェロー教育

家庭医診療科の医師を受け入れ、各2週間の研修を行った。

また外国人フェローを二名受け入れ、当科フェローシッププログラムに参加した。

2017年1月～8月：Dr Fritz, フィリピン

2018年1月～現在：Dr Jover, フィリピン

予定していたエジプト人フェローは本人の都合でキャンセルとなった。

8) メディカルチェック事業

鴨川市の事業として、鴨川中学校に3回、安房東中学に1回メディカルチェックをリハビリスタッフと共にを行った。今後も継続的に地域スポーツに貢献していく。

9) 学術活動

学術研究を行い、学会発表、原著論文執筆、教科書執筆を行った。（資料参照）

10) オルカ鴨川サポート

チームトレーナー、チームドクターを派遣し、オルカ鴨川のメディカルサポートを行った。

試合時にはマッチドクターを派遣し、救護を行った。

3. スポーツ医学科の年間活動内容と紹介

スポーツのけがを専門的に診療し、可能な限りリハビリを中心とした保存両方を行い、手術が必要となった場合でも、小さな傷で早期復帰を目指す関節鏡手術を専門にした科である。2016年度より関節軟骨修復、アライメント矯正の手術に力を入れている。

また、年間を通じてスポーツチームに出向き、医療的な支援、救護、トレーニング指導などを行っている。

勉強会、カンファレンススケジュールは以下の通りである。

勉強会スケジュール

- 水曜日朝（隔週）：スポーツリハビリ文献抄読会

カンファレンススケジュール

- 水曜日朝（隔週）：リハビリ術前術後カンファレンス
- 水曜日昼：スポーツ医学科術前術後カンファレンス
- 隔月第3または第4火曜日：スポーツ医学科－放射線科カンファレンス

4. 実績（手術件数）

術 式	2017年度
関節鏡手術	
肩関節…[脱臼、腱板手術など]	55
肘関節…[野球肘手術など]	8
股関節…[FAI手術など]	1
膝関節…[前十字靭帯手術、半月板手術など]	131
足関節…[離断性骨軟骨症手術など]	11
手関節…[鏡視下手根管開放術など]	1
関節鏡手術以外…[高位脛骨骨切り術、軟骨移植、疲労骨折、アキレス腱手術、その他スポーツ外傷]	76
総 計	283

5. 学術関係

【学会発表：一般演題】

発表者名：高澤修三、加藤有紀、西津真平、服部惣一、山田慎、大内洋

演 題 名：陳旧性膝蓋骨不安定症による膝蓋大腿関節軟骨損傷に対する自家培養軟骨移植の1例（口演）

発表学会：第45回 日本関節病学会

開催月日：2017年11月17日、東京ドームホテル。

発表者名：服部惣一、大内洋、小山稔、高澤修三、加藤有紀、山田慎

演 題 名：大腿四頭筋挫傷の超音波検査による重症度分類とスポーツ復帰時期（口演）

発表学会：日本臨床スポーツ医学会

開催月日：2017年11月18日、国立オリンピック記念青少年総合センター

発表者名：山田慎、大西基也、服部惣一、加藤有紀、市川顕、信賀幸太郎、彦田直、百武憲一、大内洋

演 題 名：大学野球投手の右肘尺側側副靭帯修復術から現場復帰まで ～医療者目線から～（poster）

発表学会：日本臨床スポーツ医学会

開催月日：2017年11月18日、国立オリンピック記念青少年総合センター

発表者名：高澤修三、大内洋、山田慎、服部惣一、加藤有紀

演 題 名：Ultrasonography-Assisted Arthroscopic Releaseの有用性（poster）

発表学会：日本臨床スポーツ医学会

開催月日：2017年11月19日．国立オリンピック記念青少年総合センター

発表者名：及川 昇、關 雅之、加藤有紀、徳橋泰明

演題名：変形性関節症に対する高分子量ヒアルロン酸治療におけるprecision medicineの可能性

発表学会：第32回日本整形外科学会基礎学術集会

開催月日：2017年10月26日．沖縄コンベンションセンター

発表者名：加藤有紀、吉田明生、白田智彦、谷口慎一、大内 洋、山田 慎、服部惣一

演題名：全型・軟骨損傷膝に対し自家軟骨培養移植を行った1例－前十字靭帯不全及び外側円板状半月板損傷合併膝－ (poster)

発表学会：第9回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)

開催月日：2017年6月23日．札幌コンベンションセンター

発表者名：白田智彦、加藤有紀

演題名：変形性膝関節症に対する脂肪由来幹細胞/間質細胞(SCAFF)を再生医療の治療成績 (一般口演)

発表学会：第9回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)

開催月日：2017年6月23日．札幌コンベンションセンター

発表者名：平田一真、加藤有紀、白田智彦、吉田明生、大内 洋、山田 慎、服部惣一、徳橋泰明

演題名：ACL損傷を合併したPCL脛骨付着部裂離骨折に対し補強的PCL再建施行した1例 (poster)

発表学会：第9回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)

開催月日：2017年6月23日．札幌コンベンションセンター

発表者名：Kato, Y., Yoshida, A., Shirata, T., Morimoto, Y., Ohuchi, H., Yamada, S., Hattori, S

演題名：A Study On Harvest Site Morbidity Of Patella Grafted With Beta-Tricalcium Blocks With 75% Porosity In Anterior Cruciate Ligament Reconstruction Using Bone-Patellar Tendon-Bone Graft

発表学会：2017 ISAKOS Biennial Congress,

開催月日：2017年6月4日 Shanghai, China.

発表者名：加藤有紀、押田 翠、關 雅之、相澤 信、徳橋泰明.

演題名：高齢者屍体膝における外側半月板断裂と関節症性変化との関係. (一般口演)

発表学会：第90回日本整形外科学会学術総会

開催月日：2017/年5月21日 仙台国際センター

発表者名：森本 麻衣子、高澤修三、大内洋、山田慎、服部惣一、加藤有紀、市川 颯、信賀 幸太郎、
常守 宏治、河瀬 麻希

演 題 名：女子サッカーチームにおける身体組成の年間変化と傷害発生の関連

発表学会：第8回千葉県サッカー医科学研究会

開催月日：2018年2月10日

発表者名：山田慎、大内洋、服部惣一、加藤有紀

演 題 名：プロ野球投手肩MRI所見—非オーバーヘッドスポーツとの比較—

発表学会：日本肩関節学会

開催月日：2017年10月6日～8日

発表者名：服部 惣一、大内 洋、山田 慎

演 題 名：足関節踵腓靭帯の超音波検査による新たな評価法の正確性と再現性

発表学会：第90回日本整形外科学会学術総会

開催月日：2017/年5月21日 仙台国際センター

発表者名：服部 惣一、大内 洋、加藤 有紀、山田 慎

演 題 名：変革するスポーツ診療 超音波診断装置の威力 筋損傷に対する超音波診断・インターベンション・
超音波ガイド手術

発表学会：第9回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)

開催月日：2017年6月23日、札幌コンベンションセンタ

発表者名：服部惣一・二村昭元・田野敦寛・山口玲子・天羽健太郎

演 題 名：超音波検査による踵腓靭帯損傷の動的評価 屍体を使用した予備研究

発表学会：第42回日本足の外科学会・学術集会 会期：

開催月日：2017年11月9日、10日 ウィンクあいち

【学会発表：シンポジウム】

発表者名：加藤有紀、白田智彦、吉田明生、谷口慎一、徳橋泰明

演 題 名：膝関節軟骨損傷に対する軟骨修復術の挑戦。（膝関節軟骨損傷に対する治療戦略とその限界）

発表学会：第57回関東整形災害外科学会

開催月日：2017年3月17日～18日

発表者名：加藤有紀

演題名：内側側副靭帯の解剖とバイオメカニクス

発表学会：第44回日本臨床バイオメカニクス学会

開催月日：2017/年11月25日 松山市総合コミュニティーセンター

発表者名：白田智彦，横田直正，木村哲也，山川雅之，金島秀人，田積俊介，加藤有紀

演題名：変形性膝関節症に対し再生医療として施行した自己血由来PRPを用いたPFC-FD (platelet-derived factor concentrate freeze-dried) 治療の臨床成績. PRP を用いた組織再生—理論と実際

発表学会：第32回日本整形外科学会基礎学術集会

開催月日：2017年10月27日. 沖縄コンベンションセンター

発表者名：服部惣一、大内 洋、加藤有紀、山田 慎

演題名：筋損傷に対する超音波診断・インターベンション・超音波ガイド手術.

(シンポジウム7. 変革するスポーツ診療 超音波診断装置の威力)

発表学会：第9回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)

開催月日：2017年6月23日. 札幌コンベンションセンター

【誌上発表】

発表者名：服部惣一、小山 稔、高澤修三、加藤有紀、山田 慎、大内 洋.

題名：特集/運動器疾患エコー活用法 靭帯損傷と回復過程での超音波利用.

発表雑誌：MB Med Reha. 216: 63-70, 2017.

発表者名：Torres RJL, Hattori S, Kato Y, Yamada S, Ohuchi H.

題名：Ultrasonography and return to play of the different clinical grading of quadriceps contusions: a case series. J Med Ultrason.

発表雑誌：2017 Oct 7. doi: 10.1007/s10396-017-0833-2. [Epub ahead of print]

発表者名：Hiroshi Ohuchi, Rolando Junior L. Torres, Kotaro Shinga, Ken Ichikawa, Yuki Kato, Soichi Hattori, Shin Yamada

題名：Ultrasound-Assisted Posteromedial Portal Placement of the Elbow Joint to Prevent Ulnar Nerve Injury.

発表雑誌：Arthroscopy Techniques , 6 (4) , e1087 - e1091, 2017.

発表者名：加藤有紀、白田智彦、吉田明生、森本祐介、大内 洋、山田 慎、服部惣一

題 名：骨付き膝蓋腱を用いた前十字靭帯再建術後の膝蓋骨骨採取部の人工骨移植の臨床成績

発表雑誌：JOSKAS. 42(3), 602-606, 2017.

発表者名：白田智彦、加藤有紀、永井悠、後藤文聖、平良勝章、森本祐介、洞口敬、徳端泰明

題 名：膝蓋腱を用いた長方形骨孔前十字靭帯再建術において大腿骨骨孔作成時に大腿骨後壁損傷が生じた症例の検討

発表雑誌：JOSKAS. 42(3), 590-594, 2017.

発表者名：大内 洋

題 名：スポーツ医学を知る 運動器診療入門

発表雑誌：救急医学 2018年3月 第42巻 第3号

発表者名：大内 洋

題 名：第17回世界水泳選手権大会帯同報告

発表雑誌：水と健康医学研究会誌 20巻1号 (2017) 35-38

発表者名：大内 洋

題 名：第13回世界水泳選手権大会 (25m) ウィンザー帯同報告

発表雑誌：水と健康医学研究会誌 20巻1号 (2017) 47-51

発表者名：服部 惣一・小山 稔・高澤 修三・加藤 有紀・山田 慎・大内 洋

題 名：【運動器疾患エコー活用術】 靭帯損傷と回復過程での超音波利用

発表雑誌：MEDICAL REHABILITATION (1346-0773) 216号 Page63-70(2017. 11)

発表者名：蔵本 理枝子

題 名：持久系スポーツによる運動器障害Ⅱ-治療と予防-自転車ロードレースによる上肢障害

発表雑誌：臨床スポーツ医学第34巻 第7号

【書籍】

- あなたも名医、知っておこうよ、スポーツ医学 ～亀田スポーツ方式を日常診療に取り入れてみよう！

日本医事新報社 2017年6月25日

監修：大内 洋、編者：服部惣一、山田慎、分担執筆：蔵本 理枝子、市川 顕

- 雑誌フラレア Hula Doctor大内先生の診察室
2017年10月フラレアNo. 70、2018年1月フラレアNo. 71、2018年4月フラレアNo. 72 大内 洋
- 超音波診断装置が有用な運動器疾患診断治療ガイド
克誠堂出版 2017年11月13日
分担執筆：大内 洋、市川 顕
- 月刊誌『RC WORLD』エイ出版社 整形外科医・リエチ先生の女医JOY トーク
2014年1月～毎月連載 蔵本 理枝子
- スポーツ新聞『スポーツニッポン』美女医が答えるリレーコラム
2015年7月～隔月連載 蔵本 理枝子
- 月刊誌『ランニングスタイル』監修 (不定期) 蔵本 理枝子
- ランナーの痛み解決BOOK ランの痛みインデックス エイ出版社 蔵本 理枝子

【学会誌編集】

- Arthroscopy reviewer：大内 洋
- Orthopaedic journal of sports medicine:大内 洋
- Journal of medical ultrasonics (scientific advisory board):服部 惣一
- 日本整形外科超音波学会学会誌 編集委員：服部惣一 査読委員：大内 洋

【会議役員】

- 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS) (評議員)：大内 洋、加藤 有紀
- 日本臨床スポーツ医学会 (代議員)：大内 洋
- 日本整形外科超音波学会(幹事)：大内 洋、服部 惣一
- 日本オリンピック委員会情報・医・科学専門部会医学サポート部門会員：大内 洋
- 日本オリンピック委員会強化スタッフ(医・科学スタッフ) (水泳競技)：大内 洋
- 関東膝を語る会 (世話人)：加藤 有紀

【講演会、研修会講師、座長】

- 膝関節機能再建の試みー鏡視下手術を中心にー 足立区整形外科連携ネットワーク学術講演会.
2017年3月3日 加藤 有紀
- 熱中症対策・安全にスポーツを行うための基礎知識 東京都立富士高校 安全対策講習会
2017年5月25日 山田 慎
- アルケア社運動器エコーBasicセミナー 2017年6月18日 大内 洋
- JOSKASセミナー 超音波コース 北海道 2017年6月 服部惣一

- MSK Ultrasound in Japan Cebu in Philippine 2017年7月 服部惣一
- 思春期に多い運動器障害への対応 東京都中野区養護部会夏期研修 2017年7月21日 山田 慎
- 成長期のスポーツ傷害と予防 夷隅郡市体育指導者講習 2017年8月21日 大内 洋
- スポーツリハでの超音波の活用 筑豊スポーツセミナー 福岡 2017年9月 服部惣一・小山稔
- 超音波ガイド下手術 Mytekセミナー 東京 2017年9月 服部惣一
- 成長期のスポーツ傷害とその予防 東京医科歯科大学医科同窓会千葉支部会 2017年10月14日
- Sports Medicine Overview 日本低温医学会 2017年10月27日 大内 洋
- 成長期のスポーツ傷害とその予防 鴨川市養護教諭会 2017年11月7日 大内 洋
- 成長期に多いスポーツ傷害と予防 東京都中野区立平和の森小学校 特別講演
2017年12月9日 山田 慎
- 大江戸エコー研究会 2018年1月28日 山田 慎
- Blauer Kreis主催 膝教室 2018年1月28日 大内 洋
- オルカ鴨川FC主催 アンチドーピング講習会 2018年2月9日 大内 洋
- 女子ワールドカップ2017を経験して ラグビードクターカンファレンス 東京 2018年2月 服部惣一
- 運動器超音波の基礎 千葉県エコー研究会 千葉 2018年3月 服部惣一
- ハイドロリリースの現状と未来 関節病予防セミナー 東京 2018年3月 服部惣一
- 肩腱板障害の超音波診断 整形外科エコーセミナー 日本整形外科超音波学会
2018年3月18日 大内 洋

【スポーツチームドクター、トレーナー活動】

- 女子サッカーチームオルカ鴨川FC チームドクター：大内 洋（チーフ）、山田 慎、服部 惣一、高澤 修三、チームトレーナー：森本 麻衣子、BU, U15, U18 トレーナー：常守 宏治
- 女子ラグビー日本代表チームドクター、2017女子ワールドカップ帯同ドクター：服部 惣一
- プロ野球千葉ロッテマリーンズ 秋季キャンプドクター：大内 洋
- プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルス チームドクター：山田 慎
- 日本水泳連盟 医事委員：大内 洋
- サッカークラブチーム コスモTFC U-6, U-12, U-15 チームトレーナー：常守 宏治
- ライオンファンクス チームドクター：服部 惣一
- スーパーラグビー・マッチドクター：服部惣一
- ラグビートップリーグ・マッチドクター：服部惣一
- Prehospital Immediate Care in Sports Instructor：服部惣一
- World Rugby Educator：服部惣一
- 千葉県高校野球連盟 全国高校野球選手権千葉県大会決勝戦マッチドクター 山田 慎
- 国際武道大学非常勤嘱託医 大内 洋、山田 慎、服部 惣一

- 国際武道大学ラグビー部 チームドクター：女子 服部 惣一、男子 高澤 修三
- 明治学院大学アメリカンフットボール部セインツ チーフチームドクター：山田 慎
- 東京医科大学アメリカンフットボール部メリービバーズ チームドクター：山田 慎
- 関東学院大学アメリカンフットボール部ハリケーンズ チームドクター：加藤 有紀
- 関東高校アメリカンフットボール連盟ドクター：山田 慎
- 都立富士高等学校アメリカンフットボール部スタリオンズ チームドクター：山田 慎、
チームトレーナー：信賀 幸太郎
- 東京都立三田高校 アメリカンフットボール部 チームトレーナー：信賀 幸太郎
- 千葉県立長狭高校 野球部 チームトレーナー：信賀 幸太郎
- 千葉県立安房高等学校 サッカー部、その他運動部 トレーナー：常守 宏治

【検診、救護、オリンピック関連】

- 館山トライアスロン大会 2017年6月25日 信賀 幸太郎、河瀬 麻希
- 世界水泳選手権帯同 2017年7月 大内 洋
- 全国高等学校野球選手権千葉大会 2017年7月24日～25日 信賀 幸太郎
- 高校アメリカンフットボール部合同合宿 2017年7月26日～29日 信賀 幸太郎
- 千葉県高校バスケットボール部合同合宿 2017年8月15日～16日 信賀 幸太郎
- 南房総少年野球肘検診 2017年12月17日 山田 慎
- 沖縄県久米島町少年野球肘検診 2018年2月4日 山田 慎
- 東京都葛飾区少年野球肘検診2018年2月18日 山田 慎
- IOC diploma in sports medicine取得 大内 洋、服部惣一、山田 慎
- IOC diploma in sports physical therapies受講中：市川 顕、常守 宏治

【メディア】

- 南海放送 News Ch. 4 2018年1月12日(金)放送 加藤有紀
- NHK-BS1ランスマ～風になれ～ 足の裏の痛み編 2017年6月24日 山田 慎
- パテサポ ランナー向けサポーター動画出演 蔵本 理枝子

文責：市川 顕